

平成 28 年度 対日理解促進交流プログラム
日本語履修大学生グループ招聘プログラム（10 月 18 日～10 月 25 日）
（対象国：ロシア連邦、テーマ：日本文化）の記録

1. プログラム概要

ロシア連邦の在外公館の推薦等により日本語教育を行っている大学から学生を選抜し、日本文化に関心を有す大学生 40 名が、2016 年 10 月 18 日～10 月 25 日の 7 泊 8 日の日程で来日し、日本文化をテーマとしたプログラムに参加しました。一行は、都内で東京大学本郷キャンパスを訪問して日本人大学生と交流し、その後、兵庫県神戸市へ移動、神戸学院大学のポートアイランドキャンパスを訪問、同大学の学生との交流、授業への参加、茶室「三輪庵」での茶の湯体験等を実施し、また、同大学で開催されたアニメ・オタク文化学生サミットにも参加、日本の伝統文化だけでなくポップカルチャーにも関心を示しました。神戸視察を目的として同大学学生の案内で市内を散策し、大学生間の関係構築に資する交流プログラムを実施しました。その後、姫路を訪れて、日本舞踊を体験した後、西の比叡山と呼ばれる書写山園教寺で座禅、写経を含む宿坊体験を行いました。一行は、プログラム中、日本の伝統文化やポップカルチャーのみならず社会、産業等にも強い関心を示し、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の外務省での報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）について代表者が発表しました。

2. 日程

- | | |
|----------------|---|
| 10 月 18 日（火曜日） | 成田空港より入国、来日時オリエンテーション |
| 10 月 19 日（水曜日） | 都内にて江戸東京博、皇居、東京大学本郷キャンパス見学交流、浅草視察 |
| 10 月 20 日（木曜日） | 神戸へ移動
神戸海洋博物館・カワサキワールド見学、
神戸学院大学ポートアイランドキャンパス訪問（施設見学、授業参観、茶道体験（於：大学内茶室三輪庵）） |
| 10 月 21 日（金曜日） | 神戸学院大学日露アニメ・オタク文化学生サミット参加（日露学生によるアニメに関するプレゼンテーション、分科会（アニメ作画分科会は神戸電子専門学校で実習）、アニソン・コスプレ・コンテスト
同大学教職員・学生との交流会 |
| 10 月 22 日（土曜日） | 姫路へ移動
姫路城視察
日本舞踊体験（桃宗蓮和講師） |

	書写山圓教寺宿坊体験（伽藍視察、法話）
10月23日（日曜日）	書写山圓教寺宿坊体験（座禅、写経） 神戸へ移動 神戸学院大学学生との市内散策
10月24日（月曜日）	東京へ移動 報告会（於：外務省）（訪日成果・帰国後の活動計画発表） 都内にて原宿・表参道
10月25日（火曜日）	成田空港より出国

3. プログラム記録写真

	
10月19日東京大学本郷キャンパス訪問	10月20日神戸学院大学訪問
	
10月20日神戸学院大学「経済英語」授業参観	10月20日茶道体験（神戸学院大学茶室三輪庵）



10月21日神戸学院大学「日露アニメ・オタク文化学生サミット」プレゼンテーション



10月21日 同分科会



10月21日 同コスプレ・コンテスト



10月21日 同アニソン大会



10月21日アニメ作画実習（神戸電子専門学校）



10月22日 日本舞踊体験（姫路市）



10月23日書写山園教寺宿坊体験（姫路市）

10月24日外務省での報告会（東京都）

4. 参加者の感想（抜粋）

- ◆素晴らしい印象。生まれて初めての日本訪問がこれほどのものになるとは思っていなかった。学生たちの親切さが記憶に残った、プログラムはよく考えて作られていた。今後への提案。初日にロシア人参加者同士の自己紹介を行うと良い（ペロウソフ）
- ◆全体としてとても充実した面白いプログラム。すべて気に入った。日本での留学（双方にとって都合よいような大学間の交換留学）について知りたい（カザコフ）
- ◆このようなプログラムに大変感謝している。一週間足らずで、日本の伝統にも、近代文化の潮流にも触れることができ、この驚くべき国について多くの新しいことを知った。ただ一番大事なのは、たくさんの日本人学生と交流し、友達までできたこと。日本の若い人たちは、対話のできる人たちで、ロシアの学生と変わらず、ロシアと日本の関係がどんどん強くなっていくことを望んでいる、とこのプログラムのおかげで知った。私もこのためにできる限りのことをしたい（サイフェルト）
- ◆日本の伝統文化も近代文化も知ることができ、自分の日本語力をアップさせることもできる素晴らしいプログラム。夢のような一週間に大変感謝している（ソハレヴァ）
- ◆プログラムはとても気に入った。日本に行き、日本人たちと交流し、新しい友達を作ることができ、私は幸せ。とても充実したプログラム（サフォノヴァ）
- ◆プログラムはとても気に入った。特にその多様さがよい。インターネット経由では知ることができないような伝統的なこと及び近代的なことを、プログラムのおかげで知ることができた。今後は、プログラムがさらに拡大することを期待（キリメイスカヤ）
- ◆とても良い日本の思い出が残った。風景が美しかったので、都市と都市の間の長時間の移動も苦にならなかった。神戸学院大学では、歓迎してくれたのと、ロシアに関心のある学生がたくさんいたのが良かった（スリュグロヴァ）
- ◆日本人学生との交流の時間、日本語の実践の時間がもっとあったら、なお良かった。全体としては素晴らしいプログラム！すべて気に入った。たくさんの経験、良い思い出、多くの新しい友人を手に入れた（アキモヴァ）
- ◆このプログラムにとっても満足している。日本文化・伝統について多くを知ることができた。我々外国人に対して日本人が優しいのに驚かされた。神戸市内散策の時の日本人学生との交流が特に良かった。日本語、特に話し言葉の勉強になった。訪日は初めてだったが、皆様のおかげでそれを実現できてとてもうれしい（クツイク）

- ◆一週間しかなかったということを考慮すると、全体としてプログラムはとても気に入った。とても良かったのは円教寺で、僧たちがロシアの学生たちの面倒をととてもよく見てくれた。自然がとても美しい。神戸の大学生たちとの交流もとても面白く楽しかった。でも、改善すべき点も少しあると思う（時間!!!）（エフシュコヴァ）
- ◆プログラムは期待以上だった。とても面白くて充実していた。一週間で日本の様々な面を見ることができた。歴史、テクノロジー、青年文化について知り、日本料理を食し、自然や建築物に感激し、そして、これが一番大切なのだが、日本語を使う環境に浸り、日本人の性格を理解することができた。宿泊・移動・同行者のレベルは最高だった。このプログラムが毎年実施され、多くのロシア人学生がこの素晴らしい日本を知ることができればよいと思う。このようなチャンスをいただいて大変感謝している（キリロヴァ）
- ◆日本をこの目で見、日本の文化を知り、素晴らしい日本の人たちと交流する機会をいただいて、とても感謝している。同行者にも感謝している。この一週間彼らは私にとってお母さんとお父さんのようだった。時間があっという間に過ぎ去ってしまったのが残念（アブディガニエヴァ）
- ◆とても充実したプログラム。日本の文化を知り、日本という別の世界を見る素晴らしい可能性を与えてくれた主催者に対し、大変感謝している。すべてとても気に入ったが、プログラムがもう少し長ければなお良かった。このプログラムは私の将来を決定する助けとなった。私は自分の人生をこの素晴らしい国とつなぎたい（ニザモヴァ）
- ◆プログラムの主催者全員に感謝したい。このような素晴らしいプログラムによって日本を見ることができたのは大変うれしい。プログラム中、力になってくれた同行者に感謝する。感激は筆舌に尽くしがたく、思い出は良いものばかり（ガヴリリュク）
- ◆プログラムの印象は良いものばかり。すべてがとても良く準備されていた。プログラム自体もとても面白く、短い期間で様々な場所を訪れ、日本文化に触れることができた。将来への提案。参加者がお店巡りをしたり、プログラムにはない場所を訪れたりできるように、1日追加すること（バロヴァ）
- ◆すべて素晴らしかった。日本文化と日本全般について、とても多くの新しいことを知った。これからもロシアの学生が日本の文化を知る機会を与え続けてほしい。ありがとう！（リャボヴァ）
- ◆すべてとても気に入った！短い滞在期間で日本のいろいろな面を見ることができた（人口過密の東京から閑静で居心地の良い円教寺まで）。また日本にきたい。どうもありがとう！（スヴァトヴァ）
- ◆私は日本に来るのはもう二回目なのですが、その前東京とよこはまを見ましたから、大都市のイメージだけきおくにのこりました。今回は違う地方へ行って、自分にとって新しい日本の特ちょうを見つけました。えんぎようじにいるのは一番面白かったと思います。特にぎぜんをすることが気に入りました。（ラザレヴァ、原文（日本語）のまま）
- ◆この素晴らしい国に滞在し長年の夢をかなえる機会をいただいたことに対して感謝している。これで私の人生は訪日の「前」と「後」の二つに分かれ、「日本に行きたいという希望」が生きていく上で不可欠なことへと変化した（マルィギナ）

5. 受入れ側の感想

- ◆ ロシアの大学で日本語を履修していても来日の機会が少ない学生を招聘し、これまで授業等で得た知識を実際に見聞する場を提供することができ、日本の社会、文化、歴史等に関する理解を深めることができた。また、初学者の場合は、日本語履修を継続するモチベーションを与えることができた。
- ◆ 日本の学生との交流を通して、言葉を超えて親しく交流できる仲間を得る機会となった。
- ◆ 本プログラムの実施に際し、2015年度短期派遣プログラム提案者となった神戸学院大学岡部准教授及び同学関係者の方々に大変ご尽力いただいた。派遣時のテーマを継続する形でアニメ・オタクが主たるテーマの1日があったが、必ずしも全部のロシア人参加者がこのテーマに関心を持っていたわけではないため、満足度は分かれた。
- ◆ 旅程上及び予算上の理由もあり姫路では書写山圓教寺の宿坊に宿泊したが、部屋数の関係で女子学生が大広間に大勢で寝る形になり、慣れない参加者には少々厳しかったようだ。一方で、すでに日本での滞在経験のある参加者でも山中宿坊は初めての経験ということで、高く評価した参加者も少なくない。西の比叡山と言われる同寺の伽藍は、映画「ラストサムライ」の撮影にも使われたということだが、壮観だった。

6. 参加者の対外発信

リヤザン国立大学 45 番教室 (45 аудитория Рязанского государственного университета) さんが写真 5 件を追加しました。

・ 2016 年 11 月 15 日 ・

10 月 18 日から 1 週間、日露青年交流センターの「日本語履修大学生グループ招聘プログラム」に本学の学生が 2 名参加しました。

3 年生のアーニャさんが感想を書いたかったので、紹介します。

★★★

日露青年交流センターのプログラムに参加して、とてもよかったです。たくさんの素晴らしい場所へ行って、もっと日本と日本の文化を知りました。一番楽しかったのは、神戸学院大学の日露アニメ・オタク文化学生サミットです。サミットの開会式で三味線とギターを聞いて、その後、皆は色々なセクションに分かれました。私は折り紙が大好きですから、日本の遊びを選びました。そして、アニメ、漫画、音楽、コスプレのセクションも見ました。カラオケとコスプレのコンテストも、すごく楽しかったです。神戸学院大学の学生はとても明るくて親切でした。このプログラムが大好きで、心に残っています。

Я очень рада, что участвовала в программе Японо-Российского центра молодёжных обменов в октябре 2016 года. Мы посетили много замечательных мест и лучше узнали

Японию и её культуру. Одним из самых интересных мероприятий стал студенческий саммит аниме культуры в университете Кобе. На церемонии открытия студенты играли на сямисэне и гитаре, после чего все разделились на разные секции. Мне нравится оригами, поэтому я выбрала секцию «Японские развлечения». Так же были столы, за которыми обсуждали популярные аниме, мангу, музыку и косплей. Студенты университета Кобе очень весёлые и дружелюбные ребята. Кроме того, мы побывали на концерте караокэ и конкурсе косплея. Мне очень понравилась эта поездка и я всегда буду её помнить.





7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

◆SNS への情報の掲載。口頭での情報伝達。アイディアを推進するためのウェブサイト創設。（日本についての）情報発信は滞在期間中行われていた。帰国後には、海洋国立大学（ウラジオストク）のサイトに旅行記を載せる。

◆《ロシアと日本の関係の強化》

私はまず SNS（Vkontakte、Facebook、Instagram 等）でこのプログラムについて話したい。それから、日本人学生を私の町サンクトペテルブルクに招待するプログラムの準備に参加したい。もしこれが可能なら、私が日本旅行を気に入ったのと同じように日本人学生がロシア旅行を気に入るよう、全力を尽くします。

◆《日本でロシア人学生に身障者用設備について教える》障害児教育（Special needs education）を専攻するロシア人学生の啓蒙。

◆《リャザン在日本文化センターのさいかい》

リャザンという町の市民に日本文化を教えるためにこの計画を作りたいと思います。普通の人々が日本についてステレオタイプを持って、そのステレオタイプのプリズムを通して日本を見ます。このステレオタイプをこわしたいと思います。日本に興味を持つ人からグループを作るつもりです。リャザンで日露学生交流会も行われていて、毎年参加している人が何人もいて、その人を集めて、日本文化センターを作りたいと思います。日本文化会やゼミを行われたり、日本語を教えたりします。